

【がん種】 [乳癌](#)
【レジメン名】 GT
【登録番号】 100121
【1コースの期間】 3週間
【総コース数】 進行・再発:PDまで
【催吐性リスク】 軽度:パクリタキセル, ゲムシタビン
【抗がん剤の組織障害性】 ビシカント(起壊死性):パクリタキセル, イリタント(炎症性):ゲムシタビン
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、発熱、疲労、間質性肺炎、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚異常、下痢、便秘、湿疹、末梢性感覚ニューロパチー、末梢性運動ニューロパチー、筋肉痛、関節痛、脱毛
【必要な検査】 編集中
【根拠論文】 J Clin Oncol 26:3950-3957, 2008. Cancer Chemother Pharmacol 67:1007-1015, 2011.

【点滴の時間】 [day1]5時間5分、[day8]2時間
【費用】 編集中
【その他】 対象患者:アルコール不耐性ではない。
 パクリタキセル:自然落下投与時は本来の滴数の約1.5倍に設定する。

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	...	8	...	21
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
2	レスタミン錠 10mg	5 錠	内服	パクリタキセル投与30分前	○				
3	生理食塩液 50mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL ファモチジン注射用 20mg	1 B 3 V 1 A	側管	全開 開始時にレスタミン内服	○				
4	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○				
5	生理食塩液 500mL パクリタキセル注「NK」	1 B 175 mg/m2	側管	3時間 フィルター使用(DEHPフリー)	○				
6	生理食塩液 100mL ゲムシタビン点滴静注用「ヤクルト」	1 B 1250 mg/m2	側管	30分	○				
7	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ			○		
8	生理食塩液 100mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V	側管	30分			○		
9	生理食塩液 100mL ゲムシタビン点滴静注用「ヤクルト」	1 B 1250 mg/m2	側管	30分			○		